



平成 21 年 11 月 11 日

各 位

上場会社名 ニッシン債権回収株式会社
代表者 代表取締役社長 合田 益己
兼執行役員
(東証マザーズ コード番号：8426)
問合せ先 常務取締役 山口 達也
兼執行役員経営管理部長
電話番号 (東京) 03-5210-1751

第 2 四半期累計期間業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 22 年 3 月期の第 2 四半期累計期間（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）の連結業績予想について、実績との差異が生じたのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想について、下記のとおり修正いたしますので併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間における業績予想との差異

(1) 平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	6,100	700	△100	△100	△58 円 40 銭
今回実績 (B)	7,342	829	△202	295	148 円 31 銭
増減額 (B－A)	1,242	129	△102	395	—
増減率 (%)	20.4	18.4	—	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	8,322	△3,360	△4,308	△5,871	△5,399 円 13 銭

(2) 第 2 四半期連結累計期間における業績予想との差異の理由

営業収益、営業利益におきましては、下期に売却を計画していた買取不動産の一部を前倒して売却できたこと、また手数料収入等が順調に推移したことから前回予想を上回りましたが、経常利益におきましては、既存借入の金利負担の影響もあり前回予想を下回りました。

なお、四半期純利益におきましては、連結子会社の欠損金の繰戻還付請求による法人税等還付税額△503 百万円の計上により、前回予想より 395 百万円増加し、295 百万円となりました。

2. 平成 22 年 3 月期通期連結業績予想の修正

(1) 平成 22 年 3 月期連結会計年度（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	12,600	1,700	150	150	87 円 59 銭
今回修正予想 (B)	10,000	1,500	△149	348	132 円 57 銭
増減額 (B - A)	△2,600	△200	△299	198	—
増減率 (%)	△20.6	△11.8	—	132.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	13,610	△4,006	△6,729	△8,856	△7,799 円 37 銭

(2) 通期連結業績予想修正の理由

手数料収入等は順調に推移しているものの、主に、上期における債権投資実績が当初計画を下回ったことから買取債権回収高の計画を見直したこと、また既存借入の金利負担の影響等を考慮し、営業収益、営業利益、経常利益を上記のとおり修正いたしました。

なお、当期純利益につきましては、上期における連結子会社の欠損金の繰戻還付請求による法人税等還付税額の発生により、前回予想より 198 百万円増加し 348 百万円となる見込みであります。

以 上

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであり、実際の業績はこれらの予想値と異なる場合がありますのでご注意ください。